

レスリング新聞

関東大会の結果

令和7年6月7日、8日の二日間にわたり栃木県のFUKAISQUARE GARDENで開催された関東大会では3年深澤遼弥が優勝、3年大津虎白が3位、2年山本樹稀也が優勝、2年中沢友貴が優勝と、多くの選手が入賞しました。入賞できなかった選手も自分の持てる力を精一杯発揮し、今後に繋がる素晴らしい試合ができました。応援してくださった皆様、本当にありがとうございました！皆様の声援があったことで、選手一同が全力を発揮することができました。



全員が、最後まで諦めなかった

今大会には、10名の選手が出場し、そのうち4名が入賞を果たすという、堂々たる好成績を収める事ができました。3年深澤遼弥は決勝を12対2で勝利しました。試合開始から約5分は両者一歩も譲らない展開でしたが、最後は深澤が果敢に攻めて逆転優勝を引き寄せました。



3年、大津虎白は準決勝1対3で負けてしまいましたが、気持ち切り替え、敗者復活戦を8対0で勝ち抜き、3位決定戦に出場。試合開始数秒で得点を決め、8対0で見事な勝利を収めました。2年山本樹稀也は決勝を16対6で勝利しました。相手の選手にリードされていた場面もありましたが焦らず冷静に試合を進め、後半は大技で優勝を勝ち取りました。



2年、中沢友貴は決勝9対8で勝利しました。得点を取って取り返されたが繰り返される白熱した試合でした。最初、4点を決められるという大幅なリードを許しましたが最後まで諦めずポイントを取り返し、勝利を引き寄せました。見ているほうもハラハラする熱戦を繰り広げてくれました。

